

第18回 ありあけジュニアピアノコンクール審査員（※50音順、敬称略）

赤松 林太郎：ピアニスト 洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学特任准教授、宇都宮短期大学客員教授（Aコース）

全日本学生音楽コンクール第1位、クララ・シューマン国際ピアノコンクール第3位をはじめ、国際コンクールでの受賞多数。神戸大学卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得。国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、台湾、コロンビアなどを公演で回る。

キングインターナショナルから5枚のCDをリリース。新聞や雑誌への執筆が多く、エッセイや教則本なども単著として刊行。近年はヨーロッパ各国でも公演を重ねる一方、国際コンクールの審査員やマスタークラスに度々招かれている。

現在、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員、ブダペスト国際ピアノマスタークラス教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学特任准教授、宇都宮短期大学客員教授、カシオ計算機株式会社アンバサダー。http://rintaro.jp/

岡田 敦子：ピアニスト 東京音楽大学教授（Aコース、Bコース）

東京芸術大学大学院博士課程（ピアノ専攻）修了。学術博士。第22回全日本学生音楽コンクール中学生の部西部地区第2位。第47回読売新聞社主催新人演奏会出演。京都市立芸術大学助教授、東京芸術大学非常勤講師、沖縄県立芸術大学非常勤講師を経て、現在、東京音楽大学教授、日本ピアノ教育連盟評議員。

海外ではスクリヤービン国際ピアノコンクール（イタリア）、ワシントン・ピアノ・フェスティバル・コンクール、国内では日本音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール、飯塚新人音楽コンクール、埼玉ピアノ・コンクール、等の審査員を務める。

末永博子、原田吉雄、伊達純、ウラジーミル・トロップの各氏に師事。演奏のみならず、評論や研究の分野でも活躍。とりわけスクリヤービンの演奏と研究では国際的に認められ、「スクリヤービン生誕125周年記念音楽祭」(モスクワ)や「シヨパン没後150年記念第2回国際会議」(ワルシャワ)などに招かれ、演奏や講演を行う。指導者としても日本音楽コンクール優勝者(2003年、2011年)などを輩出し、ヴァルディゼール夏期アカデミー(フランス)やワシントン・ピアノ・フェスティバル(アメリカ)などの講師に招かれている。校訂楽譜に『スクリヤービン・ピアノ曲全集』(春秋社)、『新編世界音楽全集-ロシア・ピアノ曲集1、2』(音楽之友社)、著書に『瞬間は永遠のなかに-世紀末のピアノズム』(作品社)などがある。『スクリヤービン・ピアノ曲全集』はモスクワのスクリヤービン博物館にも収蔵されている。

垣内 敦：ピアニスト エリザベト音楽大学教授（Bコース）

桐朋学園高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽部を卒業。その後ライプツィヒ音楽大学（ドイツ）および大学院を最優秀で卒業。1997年にフランツ・リスト国際ピアノコンクール（ワイマール）にてファイナリストとして名誉ディプロムを、1998年には第44回マリア・カナルス国際音楽コンクール（バルセロナ）にて特別メダルを受賞。ドイツ各地でソロリサイタル、室内楽ならびにオーケストラとの共演等の活動を行う。

これまでに東京文化会館や王子ホール等において東京での自主リサイタルを開催のほか、毎年夏にはイタリアでの「ローマの夏音楽祭」に出演。また、フルートのアンドレアス・ブラウ氏をはじめとするベルリンフィルメンバー、チェロのフランツ・バルトロメイ氏など内外の著名な音楽家との共演など、ソロ・室内楽両分野において国内外で精力的に演奏活動を行っている。またコンクール審査や学校コンサート、講座などの教育活動も積極的に進めている。

現在はエリザベト音楽大学教授ならびに桐朋学園大学音楽部非常勤講師を務め、後進の指導にもあたっている。これまでに、太田敬子、西江恵子、村上弦一郎、小森谷泉、グアハルト・エルバーの各氏に師事。

堺 康馬：ピアニスト 武蔵野音楽大学教授（Aコース、Bコース）

福岡県立大牟田南高等学校、武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。クロイツァー賞受賞。ドイツ・エッセン音楽大学を経てベルリン芸術大学を最優秀の成績で卒業。

これまでにリサイタルの他に、武蔵野音楽大学管弦楽団、同大学ウィンドアンサンブル、及び東京交響楽団とのピアノ協奏曲の共演や、ピアノデュオ・室内楽・伴奏の分野でも幅広く活躍し、各地で好評を博している。

池田章子、藪博之、福井直敬、栗田和雄、新井眞澄、K.ヘルヴィツヒ、G.ヴァンヤヘーリの諸氏に師事。

現在、武蔵野音楽大学教授。埼玉ピアノコンクール実行委員会理事、ヤングアーチストピアノコンクール審査員。

原 博子：ピアニスト 福岡教育大学講師（Bコース）

東京芸術大学ピアノ科及び同大学大学院修了。1985年より国際ロータリー財団の奨学生としてシュツットガルト国立音楽大学に留学。同大学を首席で卒業。第30回全日本学生音楽コンクール西日本大会高校の部1位。第51回日本音楽コンクール入選。マルサラ国際ピアノコンクール入賞。1988年帰国後は東京、大阪、名古屋、和歌山などでのソロリサイタルを行うほか、大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、愛知シンフォニエッタ、和歌山市交響楽団との共演を行う。和歌山青年会議所文化振興基金「アゼリア賞」、和歌山市文化奨励賞受賞。

出口美智子、井口秋子、小林仁、リーゼロッテ ギルトの各氏に師事。最近では、サロンコンサートのほかピティナステップでのトークコンサートも務める。さらに後進の育成にも情熱を注ぎ、全日本学生音楽コンクール北九州大会、ピティナ、フツペル鳥栖コンクールなどの審査員も務める。現在、福岡教育大学講師。

横山 幸雄：ピアニスト エリザベト音楽大学客員教授、名古屋芸術大学特別客員教授、日本パデレフスキ協会会長（Aコース）

1990年シヨパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞を果たし、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞など数多の賞を受賞。ポーランド政府より「シヨパン・パスポート」を授与。自ら企画する「入魂のシヨパン」はギネス世界記録に認定され、2019年の第10回記念公演は、3日間でシヨパンの全作品を演奏する前人未踏のプロジェクトとして大成功をおさめ、その記録をDVDとしてリリース。

更にベートーヴェン生誕250周年「ベートーヴェン・プラス」や「4大ピアノ協奏曲」の一挙演奏といった継続的に開催される意欲的な企画は高く評価される。2015年パリにてラヴェルの全ピアノ独奏曲演奏会、2018年ポーランドリサイタルツアー、2019年ルイーージ指揮デンマーク国立交響楽団公演など海外にも活躍の場を広げる。

これまでリリースされたCDは、文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、国際F.リスト賞レコードグランプリ最優秀賞等栄えある賞を受賞。また、東京と京都にレストランをオープンし、音楽と旬の食をテーマに新しい音楽の楽しみ方を提供。

2020年はシヨパン国際コンクール入賞から30年、2021年はデビュー30周年の節目を迎える。

横山幸雄オフィシャル・ホームページ <http://yokoyamayukio.net/>